

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和2年6月26日	
兵庫県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都日野市さくら町1番地	
氏 名 コニカミノルタエンジニアリング株式会社	
代表取締役社長 柴 久之	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 042-589-3730	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	

事業場の名称	コニカミノルタエンジニアリング株式会社 工事部 関西工事課
事業場の所在地	大阪府大阪狭山市今熊6-300
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：33,829万円（前年度実績）
③従業員数	4名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 鉄スクラップ等は分別して有価物として売却		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 鉄スクラップ等は分別して有価物として売却		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらと鉄筋の分別を徹底 廃石膏ボードは混合廃棄物に混入しないよう徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらと鉄筋の分別を徹底 廃石膏ボードは混合廃棄物に混入しないよう徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 今後も実施予定なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・新規業者には契約前に処理施設の現地確認を必ず実施 ・継続して委託する場合も定期的に処理施設の現地確認を実施（目安：3年に1回） ・委託先選定時には優良認定業者を優先して採用 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規業者には契約前に処理施設の現地確認を必ず実施 ・継続して委託する場合も定期的に処理施設の現地確認を実施（目安：3年に1回） ・委託先選定時には優良認定業者を優先して採用 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

- ・建設混合廃棄物 → 破碎・選別 → 再生利用・管理型埋立
- ・がれき類 → 破碎・選別 → 再生利用
- ・廃プラ → 破碎・選別・焼却 → 再生利用・管理型埋立
- ・木くず → 破碎・選別・焼却 → 再生利用・管理型埋立
- ・廃石膏ボード → 破碎・選別 → 再生利用
- ・ガラス陶磁器くず → 破碎・選別 → 管理型埋立
- ・蛍光灯、水銀灯 → 破碎・水銀回収 → 再生利用・管理型埋立
- ・がれき類（石綿含有産業廃棄物） → 管理型埋立
- ・がれき類（石綿含有産業廃棄物・土砂混じり） → 管理型埋立
- ・汚泥 → 管理型埋立
- ・廃油 → 油水分離 → 再生利用
- ・廃酸 → 中和 → 再生利用

別添2 管理体制図

コニカミルタエンジニアリング(株) 廃棄物業務管理体制表

産業廃棄物 管理責任者	全社事務局	地区事務局		廃棄物担当者 (各事業場)		特管産業廃棄物 管理責任者	現場担当者
		関東	2名	日野	2名(※1)		
社長	品質監査部 (2名)	関東	2名	八王子	1名	○	各工事担当
				甲府	1名	○	
				瑞穂	1名(※1)	○	
		豊川					
		東海	1名	三河	1名(※2)	○	
				大阪狭山			
		関西	2名	堺	1名(※2)	○	
				伊丹			
				高槻	1名	○	
				西神			
神戸							
神戸第2	1名	○					

※1 地区事務局と兼任

※2 全社事務局および地区事務局と兼任

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和元年度)実績量
 計画:今年度(令和2年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	2.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	0.8	2.8	0.8	0.0	0.0	2.8	0.8	0.0	0.0
廃酸	0.5	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.2	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	3.3	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3	1.0	3.3	1.0	0.0	0.0	3.3	1.0	0.0	0.0
コンクリート片	1,124.4	337.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1,124.4	337.3	4.4	1.3	1,120.0	336.0	4.4	1.3	0.0	0.0
アス・コン片	21.5	6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	21.5	6.5	1.5	0.5	20.0	6.0	1.5	0.5	0.0	0.0
建設混合廃棄物(管理型)	13.4	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	13.4	4.0	13.4	4.0	0.0	0.0	12.7	3.8	0.0	0.0
石綿含有産業廃棄物	585.3	175.6	-	-	-	-	-	-	-	-	585.3	175.6	585.3	175.6	0.0	0.0	585.3	175.6	0.0	0.0
水銀使用製品	1.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	0.5	1.5	0.5	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	1,752.7	525.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,752.7	525.9	612.2	183.7	1,142.0	342.7	610.0	183.0	0.0	0.0